

付表 J. 用語集

成形品 (Article) 製造時に特別な形状、表面、またはデザインが与えられた物体で、化学組成（繊維、生地、ボタン、ファスナーなど）よりもその機能が重要とされる。

生体蓄積性 (Bioaccumulative) 生物によって除去することができず、生体内に蓄積する傾向のある物質。その結果、それらは食物連鎖全体でより濃縮されます。これらの物質の濃度は、人間の健康や環境に有害なレベルにまで達することがあります。

発ガン性 (Carcinogenic) 発ガン性物質とは、その物質への曝露と人間のガンとの間に、関連が実証されているものです。

CAS番号 (CAS) CAS登録番号は、化学元素、化合物、ポリマー、生物学的配列、混合物、および合金などに割り当てられた固有の番号です。アメリカ化学会の一部門であるケミカル・アブストラクト・サービス (CAS) が、文献に記載されているすべての化学物質にこれらの番号を割り当てます。化学物質には多くの名前が付いていることが多いため、データベース検索をより便利にすることを目的としています。ほぼすべての分子データベースでCAS番号による検索が可能です。

化学物質 (Chemical substance) 一定の組成と特性を持つ化学元素とその化合物。CAS番号で定義されます。

化学物質の分類と表示に関する世界調和システム (GHS) GHSは、各化学物質の特定の危険有害性を定義し、化学物質と、それらの既に定義された危険有害性に関する利用可能なデータを使用して分類基準を作成し、ラベルと安全データシート (SDS) における危険有害性情報の伝達を整理して促進するために開発された技術的アプローチです。

検出限界 (LOD) 計算された方法検出限界 (MDL) が妥当な範囲内であることを検証するために分析された、MDLの1~4倍の値。これは試験機関によって異なります。

定量限界 (LOQ) LOQ (またはPQLとも呼ばれることがあります) は、定義された合格判断基準に従う試験方法の定量限界です。この限界は試験機関によって決められ、品質管理上の制限 (真の値の70~130%など) を満たすため、試験を通じて検証されます。LOQは試験機関により異なります。

限界値 (Limit value) 成形品中に許容されている化学物質の最大量

製造時制限物質リスト (MRSL) MRSLは、製造施設内で使用される化学製剤中の物質の濃度制限を示したものです。MRSLにおける制限は、材料の製造に使用される工程での化学物質に対応することで、制限物質の意図的な使用の可能性を排除するように設計されていますが、それが最終製品に含まれない場合があります。

製品安全データシート (MSDS) 特定の物質の特性に関するデータを含む書式。MSDSの正確な形式は、国での要件がどの程度具体的であるかに応じて、国ごとに異なります。現在、MSDSは標準化されたSDSに置き換えられつつあります。

分析法の検出下限値 (MDL) 特定の濃度でのサンプルの複数の複製に基づき数学的に導き出された制限値。偽陰性を回避するように設計されているため、偽陽性が発生しやすい傾向があります (このレベルではデータが不正確であるため)。これは検査機関によって異なります。

防腐剤 (Preservative) 有機物を分解や発酵から保護するために使用される化学物質。

REACH規則 化学物質の登録、評価、認可、および制限に関するEUの規則。化学物質および「成形品」の固有の特性をより適切かつ早期に特定することにより、人間の健康と環境の保護を改善することを目的としています。EUに入るすべての成形品は、REACH規則に適合している必要があります。詳細については、次のホームページをご覧ください。

www.echa.europa.eu

報告限界値 (Reporting Limit) AFIRM_RSL は、さまざまな試験機関のLOQに基づいて、報告限界値 (ラボ技術諮問委員会LabTACにより任意に設定された制限値) を使用します。報告限界値はAFIRMブランドにとって有用で、制限値以下のデータを収集することができますが、検出制限を下回るデータは収集できず、誤検出や不正確なデータに遭遇することはありません。

制限物質リスト (RSL) 最終製品において制限または禁止される化学物質を定義したものの。

安全データシート (SDS) SDSは、化学メーカーによって提供され、特定の物質の特性に関する安全性データを含むものです。これは製品の監督と職場の安全性にとって重要な要素であり、労働者と緊急要員に、その物質を安全な方法で処理または操作する手順を提供することを目的としています。SDSには、物理的データ、毒性、健康への影響、応急処置、反応性、保管、廃棄、保護具、および流

出取り扱い手順などの情報が含まれています。SDSは16のセクションで構成され、各セクションには標準化された分類方法を用いた具体的な情報が含まれています。標準化されたため、「MSDS」に取って代わるようになりました。SDSの例と説明については、付表Hを参照してください。

溶剤 (Solvent) 油などの他の物質を溶解する物質、またはその中で他の物質を溶解させて溶液を形成する物質。

高懸念物質 (SVHC) SVHCはREACH規則で特定されたものであり、潜在的に最も危険な化学物質 (「SVHCs」と呼ばれる) は、適切な代替品が見つかった場合は、段階的に代替品への変更が求められます。

テクニカルデータシート (TDS) 化学品メーカーが提供する文書で、化学物質の詳細な技術的説明と、特定の使用分野や使用範囲などの情報を含みます。

使用禁止 (Usage ban) いくつかの化学物質または物質群については、使用が禁止されます。これらの物質や物質群については、成形品の製造における意図的な使用は禁止されています。つまり、成形品の製造に使用される化学物質 (例えば、着色剤または繊維助剤) は、意図的にこれらの物質や物質群を含んではいけないということです。使用禁止にするのは、環境への有害物質の放出を回避し、予防策をとることで製造された成形品において、これら物質の発生を回避するためです。

揮発性 (Volatile) 通常の大気圧で沸点が低い場合、その物質は揮発性と見なされます。揮発性化学物質 (例. ホルムアルデヒド) は、より容易に気化して移動できるため、製品を交叉汚染する可能性があります。

有害化学物質排出ゼロ (ZDHC) プログラム ZDHC財団が、ZDHCプログラムを監督しています。その目的は、環境と人々の幸福を向上させるために、繊維、皮革、フットウェアのバリューチェーンにおける有害化学物質排出ゼロに向けて前進することです。このプログラムには、業界共通のMRSL、排水ガイドラインが含まれており、化学物質と排水品質データを配布するための手段となっています。